



感 謝

ライオンズクラブ 国際協会 330-C 地区
ガバナー L 川島 清

“少年老い易く学成り難たし、一寸の光陰軽んずべからず未だ
覚めず、池塘春草の夢、階前の梧葉すでに秋声”

一年間という歳月は還暦を過ぎた私にとっては誠に短いものでした。昨年六月ブリスベーンの国際大会に子供の遠足のように欣喜雀躍としてエレクトとして参加し閉会式上ガバナーに任命されたのもつい昨日のように思われます。

外国の老いたメンバーが夫婦でチョッキと帽子に垂れ下がる位一杯ピンをつけてホットドックをパクついている姿、そしてパレードの偉容これが国際大会なんだなあとしみじみ感じた次第でした。

(中略)

4月12日の地区年次大会においても畑県知事、菊池国際理事、山口国際理事候補者等多数のご来賓のご臨席のもとに地区4,000名の全員登録をいただき行田産業文化会館大ホールが超満員の熱気につつまれ盛大かつ整然と式典を挙行できました。物産展、バザー、絵画展等を通じて市民参加の実を上げられました。

(中略)

今期私は幸運にもキャビネット役員を始め年次大会部会の皆様にも素晴らしい人材に恵まれ各位から心からなるご支援ご協力を戴きながら所期の目標、諸行事も無事達成できましたことに更めて衷心よりお礼を申し上げる次第です。

更に私をガバナーとして親身になって頑張っていたいただいた新井幹事、海谷会計をはじめ幹事団の皆さん、事務局の皆さんに心からなる感謝を捧げさせて戴きます。有難うございました。

(中略)

ライオンズは地域社会に奉仕することが原点ですが、人道的な奉仕をグローバルに展開する時に来ております。今期私は「Head Heart Hand 三つのHで真の奉仕」を提唱し真心のこもった奉仕活動をご期待申し上げて参りましたが、大方のメンバーに支持され“三つのH”が口の端に上がっていることに対し私は本当にうれしく存じております。

(中略)

思いは盡きませんが最後に親愛なるライオンズ及びライオネスの皆さんお元気で益々のご活躍をお祈りいたしております。ガバナーとしてのこの一年間感動と感謝の日々の連続でした。ありがとうございました。

『Head Heart Hand 一年の記録』

ライオンズクラブ国際協会 330-C 地区 (平成4年11月30日) より抜粋